



Installed Components タブ

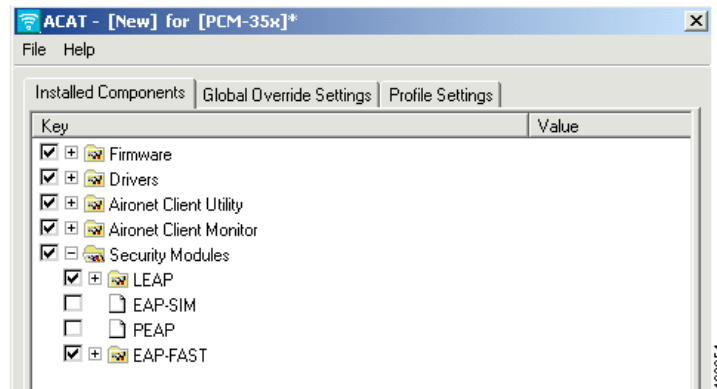
この章では、Installed Components タブのオプションについて説明します。この章では、次の項目について説明します。

- [Installed Components タブ ウィンドウ \(P. 2-2\)](#)
- [ファームウェア \(P. 2-4\)](#)
- [ドライバ \(P. 2-4\)](#)
- [ACU \(P. 2-5\)](#)
- [ACM \(P. 2-6\)](#)
- [セキュリティ モジュール \(P. 2-9\)](#)

Installed Components タブ ウィンドウ

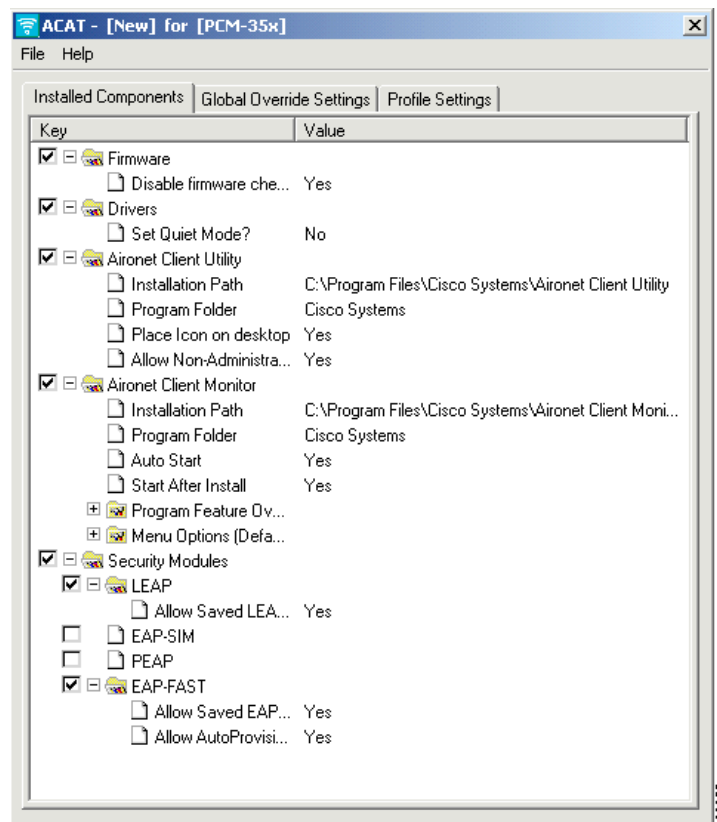
Installed Components タブでは、Install Wizard でインストールするソフトウェア コンポーネントを選択できます。Install Wizard ソフトウェア パッケージには、必要なソフトウェア コンポーネントがすべてバンドルされています。図 2-1 は、Installed Components タブで選択できるソフトウェア コンポーネントを示しています。

図 2-1 Installed Components タブ ウィンドウ



ソフトウェア コンポーネントのインストール パラメータを表示するには、コンポーネントの横にあるプラス/マイナス ボックスをクリックして選択内容を展開する必要があります(図 2-2 を参照)。

図 2-2 ソフトウェア コンポーネントのインストール パラメータ



ソフトウェア コンポーネントのチェックボックスを使用して、Install Wizard でそのコンポーネントをインストールするかどうかを指定します。このチェックボックスがオンになっているコンポーネントがインストールされます。選択項目を変更するには、該当のチェックボックスをオン、またはオフにします。



(注)

コンポーネントによっては、個別にインストールできないものもあります。そのため、それらのコンポーネントを選択または選択解除すると、その他のコンポーネントの設定が変更される場合があります。個別にインストールできないコンポーネントを選択または選択解除すると、Dependency Notice ウィンドウが表示されます。

コンポーネントのパラメータ行全体を表示するには、ウィンドウの下部にあるスクロールバーを使用するか、コンポーネントフィールドと値フィールドのサイズを変更します。

コンポーネント パラメータの値を変更するには、No などのパラメータ値をクリックします。オプション値ウィンドウが表示され、そのドロップダウンメニューで値を変更できます。選択を完了した後、**OK** をクリックします。

ファームウェア

クライアントアダプタは、インストールされたファームウェアを使用して無線を制御します。表 2-1 は、ファームウェア コンポーネントのインストールパラメータを説明しています。

表 2-1 ファームウェア パラメータ

パラメータ	説明
Disable firmware checking	<p>現在インストールされているファームウェアのバージョンをインストール プロセスでチェックするかどうかを指定します。Yes オプションを選択するとファームウェアのチェックが無効になり、現在インストールされているファームウェアが上書きされることがなくなります。No オプションを選択すると、Install Wizard にバンドルされているバージョンのファームウェアがインストールされます。</p> <p>オプション：Yes または No</p> <p>デフォルト：Yes</p>

ドライバ

クライアントアダプタには専用のドライバが必要です。このドライバは、オペレーティングシステムとのインターフェイスの役割を果たし、無線ファームウェアの機能をサポートします。表 2-2 は、ドライバのインストールパラメータを説明しています。


表 2-2 ドライバパラメータ

パラメータ	説明
Set Quiet Mode	<p>クライアントアダプタからビーコンメッセージを送信して使用可能なアクセスポイントを自動的に検索するのか、またはアクセスポイントから受信したメッセージに応答する場合にのみメッセージを送信するのかを指定します。</p> <p>オプション：Yes または No</p> <p>デフォルト：No</p>

ACU

ACU を使用すると、クライアントアダプタのプロファイルパラメータを設定および変更できます。
表 2-3 は、ACU のインストールパラメータを説明しています。

表 2-3 ACU パラメータ

パラメータ	説明
Installation Path	ACU ソフトウェアのインストール先のパスを指定します。新規パスを入力して、デフォルトのパスを変更することもできます。 デフォルト：C:\Program Files\Cisco Systems\Aironet Client Utility
Program Folder	ACU ソフトウェアのインストール先のプログラム フォルダを指定します。新規フォルダ名を入力して、デフォルトのフォルダ名を変更することもできます。 デフォルト：Cisco Systems
Place Icon on Desktop	ユーティリティにすばやくアクセスするための ACU アイコンをコンピュータのデスクトップに置くかどうかを指定します。 オプション：Yes または No デフォルト：Yes
Allow Non-Administrator Users to Save Settings to the Registry	Windows 2000 または XP オペレーティングシステムが動作するコンピュータで、管理者権限を持たないユーザがプロファイルを ACU で修正し、レジストリへ保存できるようになります。 オプション：Yes または No デフォルト：Yes
	 (注) 設定の矛盾を避けるため、Global Override Settings タブで Allow Non-Admin to Modify Profiles の設定をオンにします。

ACM

ACM は Windows のシステム トレイにアイコンで表示され、クライアント アダプタの接続をすばやく監視し、制御します。表 2-4 は、ACM のパラメータを説明しています。

表 2-4 ACM のパラメータ

パラメータ	説明
Installation Path	ACM ソフトウェアのインストール先のパスを指定します。新規パスを入力して、デフォルトのパスを変更することもできます。 デフォルト : C:\Program Files\Cisco Systems\Aironet Client Monitor
Program Folder	ACM ソフトウェアのインストール先のプログラム フォルダを指定します。新規フォルダ名を入力して、デフォルトのフォルダ名を変更することもできます。 デフォルト : Cisco Systems
Auto Start	Windows のブート後に ACM を自動的に起動するかどうかを指定します。 オプション : Yes または No デフォルト : Yes
Start After Install	このアプリケーションのインストール後に ACM を自動的に起動するかどうかを指定します。 オプション : Yes または No デフォルト : Yes

表 2-4 ACM のパラメータ (続き)




パラメータ	説明
Program Feature Overrides	<p>どの ACM 機能を有効にして、使用できるようにするかを指定します。ここでどの機能も選択しない場合は、後でいずれかの機能を使用するときに、ACAT を再度実行し、使用する機能を有効にして、コンフィギュレーションファイルを新規作成した後、Install Wizard を実行し直す必要があります。</p> <p> (注) 無効にした機能は使用できなくなり、ACM のメインメニューで Preferences を使用しても、その機能のオプションを有効にすることはできなくなります。</p> <p>機能 : About Box (Help)、Exit Program、Launch Aironet Client Utility、Troubleshooting、Preferences、Turn Radio On/Off、Reauthenticate、Select Profile、Auto Profile Selection、Other Configuration Application、Show Connection Status</p> <p>コンポーネント別のオプション : Enable または Disable</p> <p>コンポーネント別のデフォルト : Enable</p>
機能	説明
About Box (Help)	ACM のバージョン番号を表示し、オンラインヘルプにアクセスできるようにします。
Exit Program	すべてのクライアントアダプタで ACM を終了します。
Launch Aironet Client Utility	ACU がインストールされている場合は、ACU を起動します。
Troubleshooting	トラブルシューティングユーティリティを起動します。このユーティリティを使用して、クライアントアダプタでの設定およびアソシエーションの問題を特定し、解決できます。
Preferences	ACM の実行時間を指定し、ACM ポップアップメニューに表示されるオプションを選択できます。
Turn Radio On/Off	クライアントアダプタをオンまたはオフにします。
Reauthenticate	現在のプロファイルにある既存の名前とパスワードを使用して、クライアントアダプタで再認証を試すことができます。
Select Profile	クライアントアダプタで有効なプロファイルを選択できます。
Auto Profile Selection	クライアントアダプタのドライバ側で、自動プロファイル選択で使用するために ACU 内に設定されたプロファイルのリストからプロファイルを自動的に選択するようにします。
Other Configuration Application	ACU 以外のアプリケーションでクライアントアダプタを設定できるようにします。
Show Connection Status	クライアントアダプタの現在の状況に関する情報を表示します。

表 2-4 ACM のパラメータ (続き)

パラメータ	説明
Menu Options (Defaults)	<p>ACM ポップアップメニューに表示されるメニュー オプションを指定します。メニュー オプションを表示するには、Program Feature Overrides でメニュー機能を有効にしておく必要があります。</p> <p>メニュー オプション：About Box (w/Help)、Exit Program、Launch Aironet Client Utility、Troubleshooting、Turn Radio On/Off、Reauthenticate、Select Profile、Show Connection Status</p> <hr/> <p> (注) 機能オプションのデフォルト設定を変更するには、ACM のメインメニューから Preferences を選択します。</p> <hr/> <p> (注) 以前に ACM をインストールしてメニュー オプションを変更した場合は、後で ACM をインストールし直してもメニュー オプションは更新されません。</p> <hr/> <p>メニュー オプション別のオプション：Show または Hide</p> <p>メニュー オプション別のデフォルト：Show</p>

セキュリティ モジュール

セキュリティ モジュール ソフトウェア コンポーネントを使用すると、クライアント アダプタで LEAP、EAP-SIM、PEAP、および EAP-FAST をサポートする特別なセキュリティ モジュールをインストールできます。表 2-5 は、セキュリティ モジュールのパラメータを説明しています。

表 2-5 セキュリティ モジュールのパラメータ




パラメータ	説明
LEAP	<p>LEAP 認証を使用するプロファイルを作成できるようにします。ここでこの機能を選択しない場合は、後で LEAP を使用するときに、ACAT を再度実行し、このオプションを選択して、コンフィギュレーション ファイルを新規作成し、Install Wizard を実行し直す必要があります。</p> <p>デフォルト：オン</p> <p></p> <p>(注) LEAP の詳細は、第 4 章または第 5 章を参照してください。</p>
Allow Saved LEAP User Name and Password	<p>一時的でなく、保存されているユーザ名とパスワードを使用して LEAP 認証を行うプロファイルを ACU で作成できます。このようなプロファイルを使用する場合は、保存されたユーザ名とパスワードを使用して LEAP 認証プロセスが開始されるので、ユーザ名とパスワードの入力は求められません。</p> <p>オプション：Yes または No</p> <p>デフォルト：Yes</p>
EAP-SIM	<p>EAP-SIM サプリカントをインストールします。これにより、クライアント アダプタで EAP-SIM 認証をサポートできるようになります。ここでこの機能を選択しない場合は、後で EAP-SIM を使用するときに、ACAT を再度実行し、このオプションを選択して、コンフィギュレーション ファイルを新規作成し、Install Wizard を実行し直す必要があります。</p> <p></p> <p>(注) この機能は、Windows 2000 または Windows XP オペレーティング システムを実行している PC にのみインストールできます。サポート対象でないオペレーティング システムで、EAP-FAST を指定したプロファイルのインストールに失敗しても、Install Wizard からエラー メッセージは返されません。</p> <p>デフォルト：オフ</p> <p></p> <p>(注) EAP-SIM の詳細は、第 4 章または第 5 章を参照してください。</p>

表 2-5 セキュリティ モジュールのパラメータ (続き)





パラメータ	説明
PEAP	<p>PEAP サプリカントをインストールします。これにより、クライアントで PEAP 認証をサポートできるようになります。インストール時にこのオプションを選択しない場合は、後で PEAP を使用するとき、このインストールプログラムを再び実行し、このオプションを選択する必要があります。</p> <p></p> <p>(注) この機能は、Windows 2000 または Windows XP オペレーティングシステムを実行している PC にのみインストールできます。サポート対象でないオペレーティングシステムで、EAP-FAST を指定したプロファイルのインストールに失敗しても、Install Wizard からエラーメッセージは返されません。</p> <p>デフォルト：オフ</p> <p></p> <p>(注) PEAP の詳細は、第4章または第5章を参照してください。</p>
EAP-FAST	<p>EAP-FAST サプリカントをインストールします。これにより、クライアントで EAP-FAST 認証をサポートできるようになります。インストール時にこのオプションを選択しない場合は、後で EAP-FAST を使用するとき、このインストールプログラムを再び実行し、このオプションを選択する必要があります。</p> <p></p> <p>(注) この機能を使用するには、Cisco Aironet 350 シリーズまたは CB20A クライアントアダプタが必要です。</p> <p></p> <p>(注) この機能は、Windows 2000 または Windows XP オペレーティングシステムを実行している PC にのみインストールできます。サポート対象でないオペレーティングシステムで、EAP-FAST を指定したプロファイルのインストールに失敗しても、Install Wizard からエラーメッセージは返されません。</p> <p>デフォルト：オン</p> <p>EAP-FAST の詳細は、第4章または第5章を参照してください。</p>

表 2-5 セキュリティ モジュールのパラメータ (続き)

パラメータ	説明
Allow Saved EAP-FAST User Name and Password	<p>一時的なユーザ名とパスワードでなく、保存されているユーザ名とパスワードを使用して EAP-FAST 認証を行うプロファイルを ACU で作成できます。このようなプロファイルを使用する場合は、保存されているユーザ名とパスワードを使用して EAP-FAST 認証プロセスが開始されるので、ユーザ名とパスワードの入力は求められません。</p> <p> (注) 保存されている EAP-FAST のユーザ名とパスワードを入力するときには、ACU を使用する必要があります。</p> <p>オプション : Yes または No</p> <p>デフォルト : Yes</p>
Allow Auto Provisioning	<p>ユーザ名とパスワードを送信することにより、自動的に EAP-FAST サーバから Protected Authentication Credential (PAC) を取得するプロファイルを作成できるようにします。</p> <p> (注) 自動プロビジョニングが許可されていないときは、ACU を使用してプロビジョニング情報を入力する必要があります。</p> <p>オプション : Yes または No</p> <p>デフォルト : Yes</p>

